

2021 Spring

Vol.32

PLAZA IMS



大腸がんの外科治療

ロボット手術が可能にする

「根治性」と「機能温存」の両立



大腸がんの外科治療 ロボット手術が可能にする 「根治性」と「機能温存」の両立

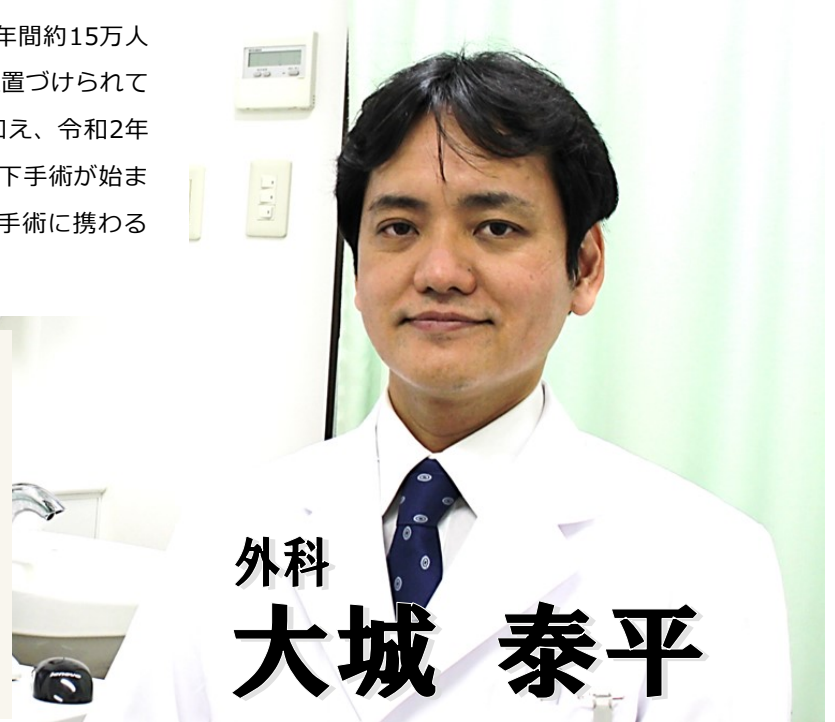
大腸がんは日本人が最も多くかかっているがんです。年間約15万人が大腸がんと診断され、がんによる死亡者数第2位に位置づけられています。当院では、従来の開腹手術、腹腔鏡手術に加え、令和2年11月より「ダビンチ」による大腸がんのロボット支援下手術が始まりました。そこで、今回は当院で大腸がんのロボット手術に携わる大城医師にお話を伺いました。

◆資格◆

日本外科学会外科専門医、指導医
日本消化器外科学会消化器外科専門医、指導医
消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡学会技術認定医
ロボット外科学会専門医

◆専門分野◆

消化器外科、大腸外科、腫瘍外科
腹腔鏡手術、ロボット外科手術



外科
大城 泰平

大腸がんとはどんな病気でしょうか？

大腸のなかでもS状結腸や直腸など肛門に近い場所で起こりやすいがんです。50-70歳代の方に発症が多く、早期の段階では自覚症状はほとんどありません。がんが大きくなると便秘や下痢、腹痛、血便、便が細くなるなどの症状が出てきます。

早期の段階では症状がほとんどないとのことですが、予防や早期発見は可能ですか？

近年、大腸がんの患者さんは増えており、食生活の変化が大腸がん増加の原因と考えられています。肥満、アルコールのとりすぎ、運動不足や喫煙などが大腸がんの発生に関わっている可能性が高いことが指摘されています。大腸がんの直接的な原因はわかりませんが、大腸がんを予防するには「食事」と「運動」が大切です。食物繊維を摂り、運動習慣を保つことは大腸がんリスクを下げるだけでなく、糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病の予防にもつながります。

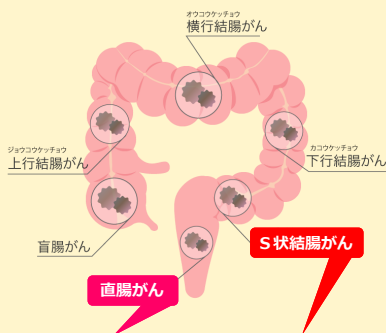
早期の大腸がんは症状がほとんどありませんが、早期でも便秘や下痢、血便などが出現することもあります。ポリプや大腸がんでは腫瘍の表面に便がこすれ出血します。痔を患っている

方で、出血の原因が大腸がんである可能性もあるため注意が必要です。また、がんから出血が続くと貧血症になります。貧血症がきっかけで大腸がんが見つかることもあるため、貧血症の方も大腸がん検査をお勧めします。

早期発見に有効な検査は「便潜血検査」と「大腸内視鏡検査」です。自治体や職場で行われている大腸がん検診では40歳以上の人に便潜血検査を推奨しています。見た目では判断できない、便に血液が混じっていないかどうかを調べる検査です。「大腸内視鏡検査」はより精度の高い検査です。内視鏡で大腸の粘膜の状態を直接観察します。病変が見つかった場合、組織を採取して調べます。ポリプや早期がんを切除することができます。

大腸がん検診を受けることに加え、2-3年に1回程度の大腸内視鏡検査を受けていただくことをお勧めします。

【大腸がんの種類】



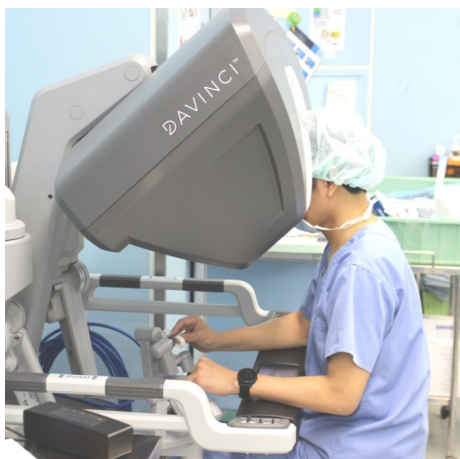
大腸がんの中でも特に発症しやすい部位。肛門に近いため、便の変化（血便、便秘など）が起こりやすく、比較的早い時期から症状が出やすい。

大腸がんの治療はどのようなものがありますか？

大腸がんは、大腸の内側、粘膜側から発生します。腸の中で大きくなったがんは、腸管周囲のリンパ節、肝臓、肺へと転移を生じます。大腸がんと診断された場合、全身のCT検査を行い、がんの広がり（進行度）を精査します。大腸がんの治療は手術、抗がん剤、放射線治療の3つが挙げられます。治療ガイドラインに沿って治療を行いますが、個々の患者さんの病態に応じて内視鏡検査・治療、外科治療、抗がん剤治療、放射線治療の専門医と連携し、最善の治療法を提案の上、丁寧な治療を実施します。

大腸がんの外科治療について教えてください。

早期がんでは内視鏡切除、進行がんでは外科切除を行います。進行がんはリンパ節に転移を伴う可能性が高いため（20%～40%）、大腸がんの病巣切除に加え、領域リンパ節を切除します。大腸は排泄を担う大切な臓器です。特に、直腸は膀胱、尿管、子宮、前立腺に接しています。排泄だけではなく、排尿は性



機能にかかわる非常に繊細な部位です。患者さんの多くが人工肛門のことを心配して受診されます。当科では、神経温存、機能温存術式を行い、可能な限り肛門温存術式での治療を行います。

当科では積極的に腹腔鏡手術、ロボット手術（「ダビンチ」手術）を行っています。従来の開腹手術と異なり、腹部に5mm～10mmの孔を開け、腹腔鏡画像を見ながら大腸がん切除を行う術式です。手術創が小さく、痛みが少なく、体の負担が少ない手術方法です。

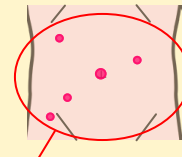
ロボット手術（「ダビンチ」手術）はどんな手術ですか？

ロボット手術は腹腔鏡手術を発展させた手術機器です。医師は拡大された腹腔内の立体画像を見ながら、手元のレバーでロボットのアームを遠隔操作し、今まで以上に繊細な手術を行うことができます。大腸がんの切除では、がんを根治させるためがん病巣とリンパ節を十分に切除する必要がありますが、排便、排尿、性機能を温存するために自律神経を残す必要があります。ロボット手術では、骨盤中の神経を損傷せずにがんを切除し、より低侵襲で機能温存に優れた手術が可能となります。骨盤の狭い男性や、がんの病巣が周囲臓器に近接しているなど、難しいがんの切除ほど、ロボット手術の使用が有効となります。手術費用の高さが問題でしたが、直腸がん手術では保険適応で手術が行えるようになりました。当院では手術経験の豊富な内視鏡外科学会技術認定医、ロボット外科学会専門医が手術を担当します。

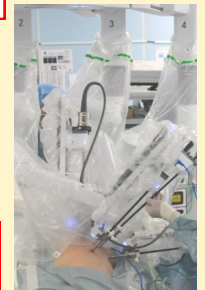
【大腸がんのロボット手術】



4本のアーム（内視鏡カメラと3本の鉗子）を体内に挿入し手術を行うため、手術による傷口が小さい



「ダビンチ」手術による切開創



PLAZA IMSをご覧くださいの皆さまへメッセージをお願いします。

大腸がんは進行が比較的遅く、治る可能性が高いがんです。早期に発見し、適切な治療を受けることが大切です。また、進行したがんや、転移を伴うがん、再発でも集学的治療（手術、化学療法、放射線治療の組み合わせ）により完治を目指せます。



大腸がんになった、大腸がん手術を受けたが再発した、大腸がんが心配、など、ご相談がありましたら当科をご受診ください。

大城 泰平（おおしろ たいへい）

新松戸中央総合病院 外科医長

名古屋大学医学部卒業。国立がん研究センター中央病院にて消化器外科、病理、画像診断の分野で研鑽を積み、大腸外科ではチーフレジデントとして臨床と研究を経験。愛知県がんセンター大腸外科にて5年間の臨床経験を経て、令和2年10月1日より現職。大腸外科手術においては1000件以上の執刀経験があり、大腸がんの切除のみならず、大腸がん再発病巣の切除、肛門温存術式など、あらゆる術式での手術に携わっている。

大腸内視鏡検査のご案内

当院では大腸内視鏡検査を毎日行っております。検査をご希望の方は**消化器・肝臓内科**をご受診ください。
(受診の際に検査日の予約を行います。)



前立腺がん ロボット手術開始

泌尿器科にロボット手術を担う竹内尚史医師、鍋木直人医師の2名が入局します。ロボット手術を希望される方は竹内医師の外来をご受診ください。
(外来日は外来診療担当医表をご確認ください。)

耳鼻咽喉科 常勤医師入局

グンデウス・メーメット医師が常勤医師として入局し、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の専門治療が可能になります。他院で手術等の治療が必要と診断された方はご相談ください。

ホームページ・各種SNSで情報発信中



▲上記QRコードからアクセス▲

受付時間

午前 7:30~ 午後 12:00~
※受付終了時間は診療科によって異なります。
詳細については外来診療担当医表をご確認ください。

診療開始時間

午前 9:00~ 午後 14:00~

交通アクセス

JR常磐線/武蔵野線 新松戸駅より 徒歩3分
流鉄流山線 幸谷駅より 徒歩3分
駐車場あり 121台収容可

診療科目

内科 腎臓高血圧内科 循環器内科 糖尿病・内分泌代謝内科 神経内科
感染症内科 血液内科 泌尿器科 呼吸器内科 消化器・肝臓内科 外科
大腸肛門外科 心臓血管外科 乳腺外科 呼吸器外科 整形外科 形成外科
脳神経外科 精神科 リウマチ科 小児科 小児外科 皮膚科 眼科
耳鼻咽喉科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科 リハビリテーション科

専門センター

消化器病センター 心臓血管センター 血液浄化センター 呼吸器病センター

IMS(イムス)グループ医療法人財団明理会 〒270-0034 千葉県松戸市新松戸1-380
新松戸中央総合病院 ☎047-345-1111(代)

通話アプリ
「LINE」利用



テレビ電話面会のご案内

● 面会時間

月曜日～金曜日 14:00～17:00
土曜日 9:00～12:00
※通話時間は5分程度



● 予約受付時間 ※要事前予約

月曜日～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00
※面会希望日の3日前までお申し込みください。(日・祝除く)

テレビ電話面会専用
「LINE」アカウント
QRコード

● 予約・お問い合わせ先

詳細は入退院受付へお問い合わせください。
☎047-345-1111(代)



病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ

- STEP 1 相談** GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を！相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。
- STEP 2 情報提供** IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。
- STEP 3 受診決定** ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定！
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間(予約含む)・対象者さま基本情報等の連絡
【入院(所・居)・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック

検索



gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。



0800-800-1632

※[060]からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間/平日 9:30~17:30 土曜日 9:30~12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>